

第18回全国障害者スポーツ大会（福井しあわせ元気大会）プレ大会 兼
第18回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北信越・東海ブロック予選会
第18回全国障害者スポーツ大会知的障害者バレーボール競技北信越・東海ブロック予選会
第18回全国障害者スポーツ大会精神障害者バレーボール競技北信越・東海ブロック予選会
実施要領

1 競技規則

平成30年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

(1) 聴覚障がい者のチーム

ア 1チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー（手話通訳者等）1名および選手12名以内とする。

イ 監督およびコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督およびコーチを含めて12名以内とする。

ウ 男女別にチームを編成する。

(2) 知的障がい者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ2名および選手12名以内とする。

イ 男女別にチームを編成する。

(3) 精神障がい者のチーム

ア チームの構成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名および選手12名以内とする。

イ 男女混合でチームを編成する。（試合中は少なくとも1名以上の女性プレーヤーが出場していなければならない。）

3 競技方法

(1) 試合は、聴覚障害者の部（男女別）、知的障害者の部（男女別）および精神障害者の部ごとに福井県チームを除くトーナメント方式とする。

なお、トーナメント戦以外に、福井県チームを含む交流試合を実施する。

(2) 全試合3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。

(3) 1セット25点のラリーポイント制とする。

なお、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。

(4) 第3セットは25点制で行い、コートの変更はいずれかのチームが13点先取したときに行う。

(5) 試合は、ワンボールシステムで行う。

(6) 設定時刻を越える場合は直前の試合終了の10分後にプロトコールを開始する。ただし、連続試合となる場合は試合終了後の20分後にプロトコールを開始する。

4 服装等

(1) 背番号は、1番から12番までが望ましい。やむを得ない場合は、1番から99番までとする。チーム名、キャプテンマークおよび背番号等のサイズは、規定のものとする。

(2) リベロプレーヤーを採用する場合は、他の競技者と明確に区別できるユニフォームを

着用する。

5 試合球

- (1) 聴覚障がい者の部および知的障がい者の部の試合球は、次の（公益財団法人）日本バレーボール協会検定球5号球とする。
 - ア 男子 ミカサ製カラーボール（MVA300）
 - イ 女子 モルテン製カラーボール（V5M5000）
- (2) 精神障害者の部の試合球は、日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製円周 78 ± 1 cm、重量 $210 \text{ g} \pm 10 \text{ g}$ ）（S3Y1500-WX）とする。

6 組合せ

組合わせは、平成30年に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いの下に代理抽選の上、決定する。

7 その他

- (1) 監督会議は、競技開始前に行い、その場において申し合わせ事項を設けることができる。なお、監督会議の時間および場所は別途通知する。
- (2) ベンチには、選手、監督、コーチおよびマネージャー以外は入ることができない。なお、監督、コーチおよびマネージャーは規定のマークを左胸部につけることとし、未着用の場合はベンチに入ることができない。
- (3) 競技場内へはベンチに入る者のほか、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員および情報支援ボランティアならびにあらかじめ許可を受けた報道関係者および視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (4) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。
- (5) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途定める。
- (6) 事前に登録した選手に変更がある場合は、監督会議での申し合わせによりこれを認める。